

し、厚四乃至七纏にして大部分は在來マカダム道を基礎と

し、混擬土基礎を用ひしは小部分にすぎぬ。今日迄の成績に由れば厚五纏のトペカ式が最も適當である。工費は平方米當り九・三乃至一五・三シル。

タール混擬土鋪装は國產タールを用ひ在來マカダム上に四乃至六纏厚に鋪装され、その施工面積二五・二萬平方米に達し工費は七ニ乃至一一・五シル。

タール又はアスファルトマカダム道は熱式又は冷式の透入法に依り施工面積約五・八萬平方米にして工費は七・五乃至一一シル。

塗裝道は二回塗布を用ひ、平方米當り二・七乃至三・五シ

ルの工費を要し、其他タールエマルジョンを用ふるティビツシユ鋪装も輕交通に使用さる。

第七圖は在來マカダム道上に厚六纏のターラスファルト混擬土鋪裝施工狀況。

第八圖は厚八纏のターラマカダム道。

### 農人・長岡前警視總監

前内閣瓦解の二日前に警視總監に爲つて、夫れで貴族院議員に任命された官海の幸運兒、長岡隆一郎氏曰く、現内閣は俺を地方官監視の總本山格のやうに睨んで、刑事までを附けて呉れてゐるが、農業を經營してゐる俺を要監視人にしてゐるから警察費が嵩むのだ、と。曰くの譯を聽けば成城田園都市に眞の田園生活をして退官すれば百姓をすると言つてゐた氏が、所謂理想的生活に目を送つて、農作物を奥さんに新宿市場まで賣出さしめると言つた調子の眞農業生活をしてゐるのに、毎日警察の人達が御主人は今日はどちらですかと尋ねに來るのが癪に障つたのが原因。

農人曰く、植物は世話してやればやる程主人に酬ひてくるが、人間チ一奴は不料簡なもので、いくら世話しておいても一人前になれば出會つても確に挨拶もしないと、頼むへからざる人間性を嘆した。此嘆聲の出る所、地方官監視の總元締の噂の生ずる所以、蓑をぬぎ鎌を捨てて、人間觀をするところが恐ろしい、之が近代的百姓・農人である。(た)